



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《10月の休館日》2日(木)、9日(木)、16日(土)、23日(木)、30日(木)

10/27-11/9

2025・第79回読書週間 標語
「こころとあたまの、深呼吸。」

新町発足70周年関連展示

大石田町のあゆみ

一町の魅力を再発見!

図書館の所蔵資料の中から、町の歴史や文化、町の人々や暮らしに関する郷土資料を紹介します。普段は書庫にある昔の広報誌なども展示しますので、この機会にぜひご覧ください。

雑誌・図書 リサイクル市

保存期間切れの雑誌や除籍した図書をお譲りします。持ち帰り用の袋をお持ちください。
※なくなり次第終了

10/1 水 ▶ 11/30 日

雑誌タイトル：暮しの手帖、リンネル、文藝春秋、ダ・ヴィンチ、BRUTUS、MOE、Kodomoe、NHKすてきにハンドメイド、NHKきょうの料理、レタスクラブ、NHKきょうの健康、NHK趣味の園芸やさいの時間、現代農業、関東東北じゃらん、山と溪谷、BE-PAL、鉄道ジャーナル、driver、ちゃお、別冊マーガレット、週刊ダイヤモンド、Newton、ZERO☆23、子供の科学等

今月は、どの本を読む?

『まちの個性派映画館』

(美木 麻穂 // 著 パイインターナショナル)
昭和レトロ、リノベーション、フィルム上映、ジャンル外個性派…。ファン獲得のために地域コミュニティに密着し、様々な工夫を凝らす、全国各地の魅力的な映画館88をイラストと写真で紹介する。

『写真で読み解く 都道府県別方言大辞典』

(大西 拓一郎 // 監修 あかね書房)
47都道府県の方言を紹介した辞典。各方言を「発音」「アクセント」「文法」「ことば(単語)」の4項目に分けて詳しく解説し、それぞれの方言が話されている地域についても地図や写真とともに紹介する。

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!

『雪夢往来』

(木内 昇 // 著 新潮社)
ふるさと越後が江戸で知られていないと悟った鈴木牧之。彼の書いた「雪話」は山東京伝の目に留まり、出版へと動き始めるが…。名著「北越雪譜」が世に出るまでの風雪と虚々実々の江戸出版界を描く。『小説新潮』掲載を書籍化。

『とつとつこびと』

(新井 悦子 // さく、せきぐち ひろみ // え 岩崎書店)
おはようからおやすみまで、「とつとつこびと」たちは何度も、ちいちゃんのところへやってきて、お世話をします。子どもの周りにいる大人たちの指をこびとに見立てた、親子でスキンシップを楽しめる絵本。



宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成の事業を紹介します

大石田町自主防災組織連絡協議会事務局は、宝くじの助成金(地域防災組織育成助成事業)で次の防災備品を整備しました。



▲可搬式発電機



▲ポータブル電源



▲ハイブリッド投光器

上記写真の可搬式発電機1台、ポータブル電源(ソーラーパネル付き)10台、ハイブリッド投光器3台を整備しました。

有事(災害時)以外は、地域で実施する防災訓練などで遠慮なく有効に活用するため、貸出も行います。使用を希望される方は、下記までお問い合わせください。

総務課 総務グループ(自主防災組織連絡協議会事務局)
危機管理主査又は地域防災専門員 ☎35-2111(内線213・218)

町長コラム 「次世代へ虹をかける」

『出る杭(くさ)』

こんにちは! 朝晩はだいぶ涼しくなり、周囲では稲刈りが最盛期の時期となりました。一日の温度差が大きく体調管理が難しい時期です。皆さん体調に十分気をつけてお過ごしいただきたいと思います。
さて、皆さん、天童市出身の「ミッチーチェン」さんをご存じの方は多いのではないのでしょうか。テレビやラジオ、CMにも数多く出演され、SNSでもTikTokが4億回再生されるなど山形県内で今最も注目されている芸能人ではないかと思えます。令和2年の8月豪雨災害の際には、友人の赤塚製氷さんと被災した方を元気づけようと「炊き出し」ならぬ「冷やし出し」のかき氷を振る舞いに大石田に来てくれました。そんなミッチーさんと20年来の友人で、彼から様々なことを学ばせてもらっています。
10年程前の話になります。ミッチーさんから「出る杭は打たれる」とよく言うけれど、狭く「コミュニティでの

出る杭なんていうのは、その中でも突出した杭かもしれないけども、外からとか広い視野から見れば、往々にしてどうでも良い数ミリも出てない小さな杭だったりする。「あーだ、こーだ」と杭を打つほうに回るだけ人間的に損であり「何故? どうやって出てきたのか?」「出るほうになるにはどうしたらいいか?」と考えたほうが自分も成長できるから、俺は、ほーゆーおどご(そういう男)さあなっだいのよー!」という話を聞きました。
その後のミッチーさんは妬みやつかみを吹き飛ばすぐらい、杭が打たれないぐらい、突き抜けた活躍をされています。人の足を引っ張るのではなく、どうすれば成長できるかを考えることが大切だと学びました。一人一人が互いに支えあい、高めあいながら「出る杭」を歓迎できるまちづくりができればと思います。
大石田町長 庄司 中

vol.21



※書影は各出版社HPまたは規定する方法から、紹介文は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。